

保護者様

松戸市立牧野原中学校
校長 鈴木俊世

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

向寒の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日ごろから本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて、このたび、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果及び本校生徒の分析結果が出ましたので、お知らせします。

1. 全国学力・学習状況調査概要

本調査は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善をねらいとし、国語と数学で全国の中学校3年生を対象として、本年度4月18日（火）に実施されました。

調査の内容は、「教科に関する調査」と「生活習慣や学習環境等に関する調査」の二つに分けられます。「教科に関する調査」は、以下のように実施されました。

- ・国語、数学、英語の3教科について調査を実施。出題範囲は、中学校2学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下の通りとなっています。
- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

2. 今回の調査から（概要）

- [国語] ・「読むこと」の領域において県平均、全国平均を上回っています。
・「書くこと」の領域において県平均、全国平均を下回っています。

- [数学] ・数学分野の全ての領域において県平均、全国平均を下回っています。

- [英語] ・英語分野の全ての領域において県平均、全国平均を上回っています。

- [生活面] ・「生活習慣・学習習慣」「規範意識」に対する意欲は全国平均を上回っています。
・全国平均と比べ「自己有用感」は低く現われています。

3. 今後の学校での指導に生かしたいこと

今回の調査分析で把握した課題の解決や更なる学力の向上に向けた授業改善・指導方法の工夫について、学校全体で取り組んでまいります。特に、数学への学習意欲の向上に向けた取り組みや、国語の文章を書くことへの抵抗感を払拭できるよう工夫を行っていきます。また、日頃の学校での生活や行事などの体験を通して、様々な生徒がより主体的に活動し、多くの生徒が自己有用感を持てるよう改善を行ってまいります。

4. その他

- (1) 良い生活習慣が学習の土台になります。早寝・早起き・朝ご飯の習慣を大切にしようご協力お願いします。
- (2) 学習や生活習慣等について気になることがありましたら、遠慮なく担任へご相談ください。
- (3) 本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、本校の教育活動の一側面であることをご理解くださるようお願い申し上げます。